

学校名	福島県立郡山商業高等学校	校長	吉井 秀樹
住所	福島県郡山市菜根5丁目6番7号		
TEL	024-922-0724	URL	https://koriyama-ch.fcs.ed.jp/

郡商生のアイデアからはじまる「ものづくり」 ～商品開発からヒット商品を！ 知的財産を守れ！～

本校は、創立102周年の歴史と伝統のある商業高校です。学科が3つあり、流通経済科・会計科・情報処理科を設置しています。商業教育は人づくり。「ものはつくらない」と言われていましたが、なんと「ものづくり」の学習をしています。それは、流通経済科3年の選択科目に設定している「商品開発」という商業科目の中で行っており、生徒はアイデアをしばりにしばって真剣にものをつくっています。

取組の概要

知的財産権の学習の一環として、郡山市が開催する「ものづくり知財塾」の講師から、以下の3点について講義を受け、生徒は自分が考えたアイデアを実現させるため、ものづくりの基礎基本から学びました。

- 1 知的財産に関する基礎知識を学ぶ
- 2 郡山市発明工夫展で受賞した作品を見て、ものづくりのポイントを学ぶ
- 3 郡山市内の企業担当者より、商品や製品を見ながらものづくりの楽しさを学ぶ

実践内容

知的財産権には、発明を保護する特許権、デザインを保護する意匠権、商品名を保護する商標権、作り手を保護する著作権があります。

これらについて学習した後に、身近なところからヒントを得て、新しいものや便利なものを考えて、イメージしたものを形にし、令和3年度には郡山市発明工夫展や全日本学生児童発明くふう展に応募してみました。



実践結果

第73回郡山市発明工夫展では、福島県発明協会会長賞を始め、出品した多数のアイデア作品が受賞し、さらには学校賞までいただきました。その中でも、キッチンペーパーを取りたいとき、濡れた手で取っても、紙が濡れないアイデア作品「濡れまてん」は、第80回全日本学生児童発明くふう展において「入選」することができました。シンプルな部品構成でありながら、「日常生活の中で、それがあれば便利なもの」と高く評価されました。

アイデアが特許権を持ち、商品化されても、その商品が売れなければ、大人気＝ヒット商品とはなりません。今度は、売り込む工夫（販売促進）が必要となり、大ヒット商品に向けた探究学習の第一歩となるのです。

生徒の感想

【Aさんから】お客様の要望を形にすることや誰かのために役に立つものを考えることから何を作るか考え、ものづくりの楽しさと他人と協力することの大切さを学びました。【Bさんから】知的財産権は、技術だけを守るものではなく、作った人の「想いを守ること」という言葉が印象に残りました。